

## 女性の笑顔をお手伝い～ホルモン療法に使用する製剤～

薬剤部

のざわ  
能澤

まきこ  
真希子

婦人科のホルモン療法とは、女性ホルモンを補充する事で身体的・精神的な症状を改善する治療法と、女性ホルモンの作用を抑制して病変の増殖を抑える治療法があります。これに使用する製剤には、卵胞ホルモン、黄体ホルモン、卵胞ホルモン・黄体ホルモン配合剤、ゴナドトロピン放出ホルモン（GnRH）アゴニストがあります。

### ①卵胞ホルモン製剤；ル・エストロジェル、ディビゲル、エストリール錠など

卵胞ホルモンを補充する事で、更年期障害によるほてり、発汗などの症状や不妊症、卵巣欠落症状などを改善する薬です。製剤によっては骨粗鬆症に使用する場合があります。飲み薬、貼り薬、塗り薬など様々な剤形があるので各製剤毎の使用方法に理解が必要です。



### ②黄体ホルモン製剤；プロゲデポー筋注、プロベラ錠、デュファストン錠など

黄体ホルモンを補充する事で、無月経、月経周期異常、月経困難症、機能性子宮出血、不妊症などを治療する薬です。



### ③黄体ホルモン・卵胞ホルモン混合製剤；メノエイドコンビパッチ、ヤーズフレックス配合錠、ルナベル配合錠、プラノバル配合錠など

女性ホルモンのバランスを整える事で、月経困難症や月経周期異常などを治療する薬です。製剤によっては骨粗鬆症や更年期障害などの治療に使われる場合もあります。効果や副作用、飲み易さを考慮し黄体ホルモン量が低～高用量製剤より選択されます。

### ④ゴナドトロピン放出ホルモンアゴニスト；リュープロレリン酢酸塩注射用、スプレキュア点鼻液など

卵巣を刺激するホルモンの分泌を下げて卵巣の働きを抑えます。閉経したのと同じ状態になり、子宮内膜症・子宮筋腫を治療する薬です。

ホルモン製剤、ホルモン療法の種類は多く、また副作用も個人差があります。薬の飲み合わせなど気になる事があればどうぞご相談下さい。



<健康診断の結果、「精密検査必要」と言われた方の受診予約（電話等）を受けています>

待ち時間が少なく、スムーズに受診を受けられます。特にお仕事をされている方、多忙な方はどうぞ地域医療連携室（下記）にご連絡ください。

電話 0765-22-1354（平日9：00～16：00）

FAX 0120-935-631

富山ろうさい病院では、緊急の方を優先して診察します。救急車で搬送された方は、医師、看護師が救急室で待機し、入院まで速やかに対応できるように準備しています。症状を自覚した時、我慢をせず、早期に対応することで療養期間を短くすることもあります。速やかな受診をお勧めします。

電話 0765-22-1280（病院代表）